

7年度修了式 講話

皆さん、おはようございます。

本日、令和7年度の修了式を皆さんとともに迎えられたことを、たいへんうれしく思います。この1年間、砧中の生徒として、皆さんは心も体も大きく成長したと思います。勉強や部活動、学校行事、そして日々の生活の中で、できなかったことができるようになったり、自分の考えをしっかりと持てるようになったりと、一人ひとりが確かな歩みを進めてきました。

時にはうまくいかず、悩んだことや苦しかったこともあったでしょう。しかし、その経験が皆さんを強くし、次の一步を踏み出すことにつながります。大谷翔平選手は「たとえ今日うまくいなくても、それは失敗じゃない。未来の自分のための準備期間だと思っています。」と言っています。この1年間の自分のがんばりに、ぜひ自信を持って進級してください。

進級したら、皆さん一人ひとりが、今よりももっと相手の気持ちを考え、思いやりの心を持って行動してください。もし困っている人や悲しんでいる人がいたら、勇気を出して声をかけてください。自分がされたらいやなことはしてはいけません。それはいじめになってしまいます。相手の気持ちを考え、みんなが広い心で支え合い、誰もが安心して過ごせる学校をつくっていきましょう。

この1年間の皆さんの努力を心からたたえるとともに、皆さんがさらに成長した姿で令和8年度を迎えてくれることを期待しています。

離任式あいさつ

実は私、先日、大学院を卒業しました。3年間、毎週土曜日に通って勉強していました。

「えっ、校長先生が、しかも、その年で勉強？」って驚くかもしれませんが、新しいことを知るのに年齢は関係ありません。むしろ、大人になってから学ぶのは、やらされている感じがなく、自分から勉強したいという気持ちに素直になれるので、中学生の時よりずっと楽しかったです。

もし皆さんが、何かを始めるのに「もう遅いかも」とか「周りの目が気になる」と迷うことがあったら、この私の卒業を思い出し、勇気を出して挑戦してください。挑戦するのに、遅すぎるなんてことは絶対にありません。

私は大好きな砧中学校を離れ、4月から北沢学園中学校という区内に新しくできた学校の校長として、また新しい人生のスタートラインに立ち、新しいことに挑戦します。皆さんのことはいつまでも応援しています。またお会いしましょう。